



【QCサークル推進者のためのQ&A】

～よくある7つのお悩みに答えます！～

今回のメールマガジンでは、QCサークル活動（小集団改善活動）を推進する立場にある方向けに、現場でよくある悩みや疑問にお答えいたします。皆様のサークル活動の一助となれば幸いです。

Q1：「うちの現場ではもう改善ネタが出尽くした…それでも活動を続ける意味はあるの？」

A1：「改善ネタがない」と感じるのは、活動が日常業務に溶け込んできた証拠でもあります。しかし本当に改善点はないのでしょうか？見方を変えると、まだまだ改善の余地が見えてきます。たとえば、“困っているけど諦めていること”“誰もが仕方ないと思っている手間”など、普段は見過ごされがちな「当たり前」を見直すことで、新たなテーマが見えてくることも多いものです。

JUSEでは、こうした“改善の視点の転換法”を実践的に学べる研修（例：正しい問題解決習得とQCサークル活動実践教育）があります。QCサークル活動を継続的に進化させるヒントが満載です。

Q2：「活動しても成果が出ない…どうすれば達成感や充実感を得られる？」

A2：成果が“数値”として出ないと、やる気も下がりがちです。しかし、QCサークル活動の成果は「数字」だけではありません。職場のコミュニケーションの改善や、後輩育成の機会としての価値など、目に見えない効果も多くあります。

加えて、目標の立て方や問題設定に改善の余地があるケースもあります。

「成果が出るテーマ設定法」や「小さな成功を見える化するコツ」などを盛り込んだ研修（例：QCサークル推進者コース）もご提供しています。

達成感のある活動へとつなげていくサポートが可能です。

Q3：「メンバーのやる気が続かない…どうモチベーションを保てばいい？」

A3：「またミーティングか…」「どうせ意見が通らない」そんな空気が広がると活動は停滞します。やる気が続かない背景には、活動の意義や効果が実感できていない、成果が適切に認められていないなどの理由があります。

やる気を引き出すには、役割分担の工夫、進捗の可視化、表彰・フィードバックの仕組みが効果的です。

実際の事例を交えながら「職場の空気を前向きにするしかけ」を学べる研修もございます

（例：QCサークルリーダーコース）。

推進者の悩みに寄り添いながら、継続可能なモチベーションづくりをサポートします。

Q4：「活動がマンネリ化してしまう…何か打開策はある？」

A4：「やることはやっているけど、以前ほど活気がない」そんなときは、“いつもと違う刺激”が必要かもしれません。

たとえば、他部署との合同発表会、社外事例との比較、テーマ発表のプレゼン技術向上などが有効です。

また、外部の専門家を招いたワークショップや研修も、マンネリ脱却の大きなきっかけになります。

「QCサークル活動を再活性化させる」ことを目的とした研修（例：QCサークル推進者コース）もご用意しています。

Q5：「うちの職場は人手不足で活動する余裕がないのですが…」

A5：その悩み、とても多くの職場で耳にします。でも、QCサークルは「特別な時間を確保する」のではなく、「仕事の中で改善する」スタイルが基本です。

（次ページへつづく）

1回30分のミーティングを月2回だけ実施するだけでも、十分な効果が出るケースもあります。また、成果を出している企業の多くは、「できる範囲で、小さく始める」ことを実践しています。無理せず、継続できるやり方を考えてみましょう。

Q6：「メンバーが改善に興味を持ってくれない…」

A6：改善が「やらされ感」になると、どうしても意欲は下がってしまいます。改善テーマの選び方や、成果の“見える化”がカギになります。例えば「自分たちの作業が楽になる」「不良が減って褒められる」など、身近な効果が実感できるテーマを選びましょう。

また、改善前後の変化を写真やデータで示したり、社内報で紹介することで、やる気につながります。

Q7：「発表会が負担で活動が続きません…」

A7：発表会は活動の集大成として重要ですが、「発表のために活動する」ことが目的になってしまうと本末転倒です。

まずは日常の改善活動を重視し、発表はあくまで“まとめ”の位置づけにするとよいでしょう。

また、発表会のプレッシャーを軽くする工夫として、「写真と簡単なコメントだけの発表」「他サークルとの合同ポスターセッション」などもおすすめです。

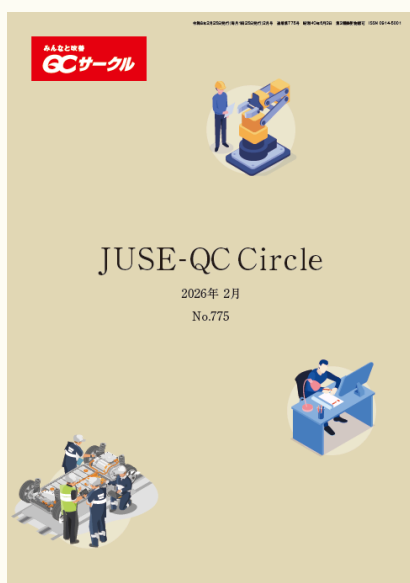
活動の価値は、見栄えよりも“実感”です。

終わりに：

QCサークル活動は「制度」ではなく、「文化」です。現場の力を信じる企業にこそ、その価値は発揮されます。

JUSEでは、QCサークル活動の推進をサポートする各種研修・実践教育をご用意しています。

貴社の課題に応じたプランをご提案いたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。



テーマ設定やデータ分析、発表資料作成など、QCサークル活動に役立つノウハウを実例で解説！推進者・管理者向け特集も充実し、他社事例から自社活動のレベルアップにつながります。推進・教育にぜひ“QCサークル誌”をご活用ください。

一般財団法人日本科学技術連盟
品質経営推進センター 営業・企画グループ

https://www.juse.jp/shanai_seminar/app/step1/?

*社内セミナーに関するお問い合わせは、上記リンク先よりお願いいたします。

